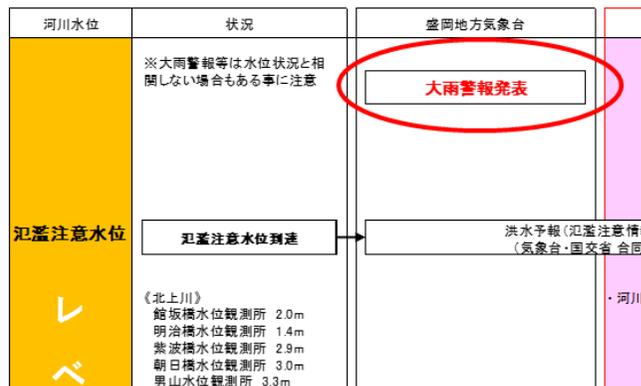
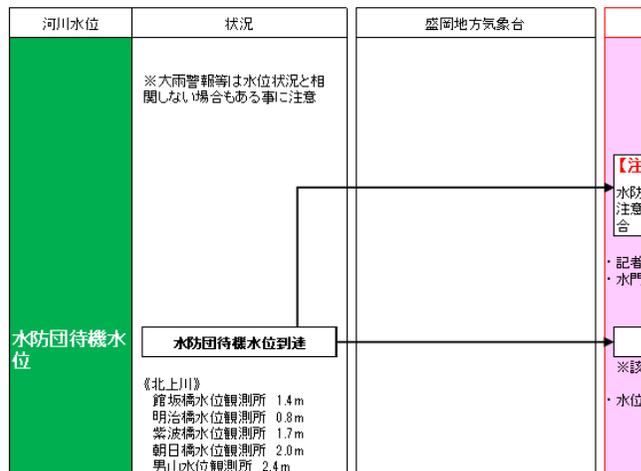


岩手河川国道事務所からの情報提供

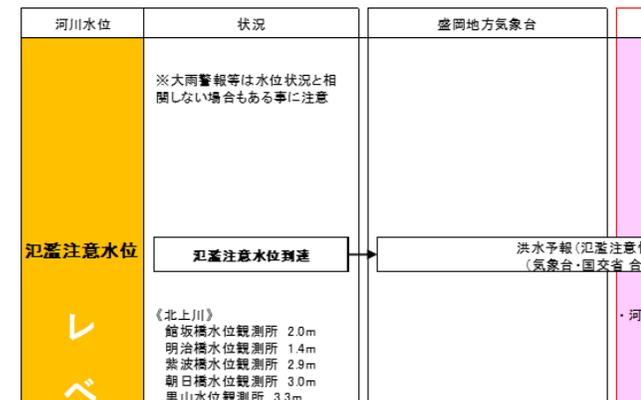
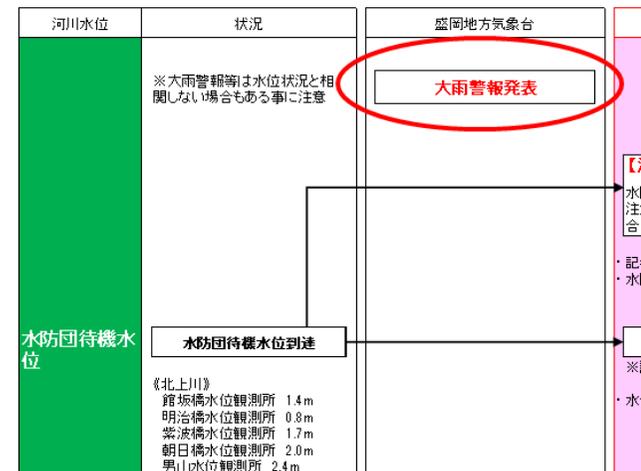
- 流域タイムラインの見直し
- IDR4Mの全国展開の加速化プロジェクト
- ワンコイン浸水センサ
- まるごとまちごとハザードマップ
- 水害リスク情報の活用促進について
- 流域治水プロジェクト2.0、自分事化に向けた取組

修正前（令和5年度）

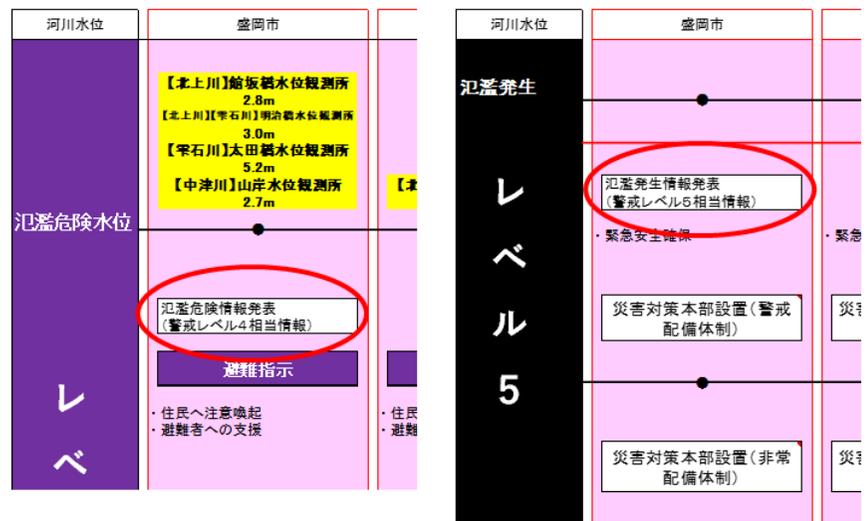


修正後（令和6年度）

「大雨警報発表」のタイミングを修正

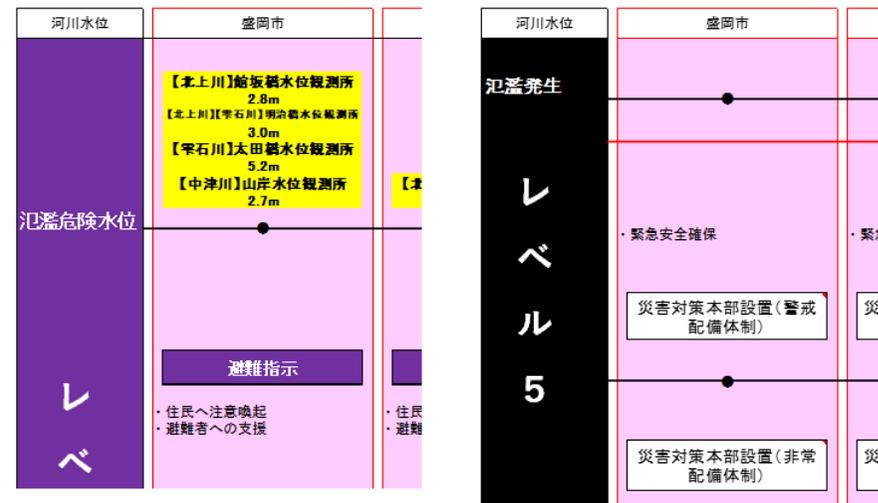
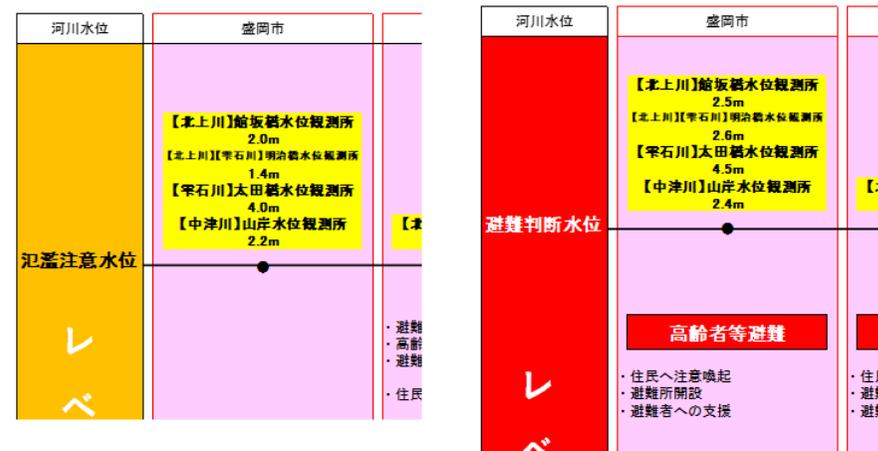


修正前（令和5年度）



修正後（令和6年度）

誤記のため、盛岡市の各氾濫情報発表を削除



修正前（令和5年度）

修正後（令和6年度）

住民等の行動内容の表現を修正

河川水位	住民等
水防回待機水位	<ul style="list-style-type: none"> テレビ、インターネット等による大雨や河川の状況確認 防災無線、携帯メール等による避難準備情報の受信

河川水位	住民等
水防回待機水位	<ul style="list-style-type: none"> テレビ、インターネット等による大雨や河川の状況確認 防災無線、携帯メール等による避難に関する情報の受信

河川水位	住民等
氾濫注意水位	<ul style="list-style-type: none"> テレビ、インターネット等による大雨や河川の状況確認 防災無線、携帯メール等による避難準備情報の受信

河川水位	住民等
氾濫注意水位	<ul style="list-style-type: none"> テレビ、インターネット等による大雨や河川の状況確認 防災無線、携帯メール等による避難に関する情報の受信 キキクルや水害リスクラインの確認

河川水位	住民等
水防回出動水位	<div style="background-color: #FF0000; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;"> 高齢者・要配慮者避難開始 (一関市) </div> <ul style="list-style-type: none"> テレビ、インターネット等による大雨や河川の状況確認 防災無線、携帯メール等による避難準備情報の受信

河川水位	住民等
水防回出動水位	<div style="background-color: #FF0000; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;"> 高齢者・要配慮者避難開始 (一関市) </div> <ul style="list-style-type: none"> テレビ、インターネット等による大雨や河川の状況確認 防災無線、携帯メール等による避難に関する情報の受信 キキクルや水害リスクラインの確認

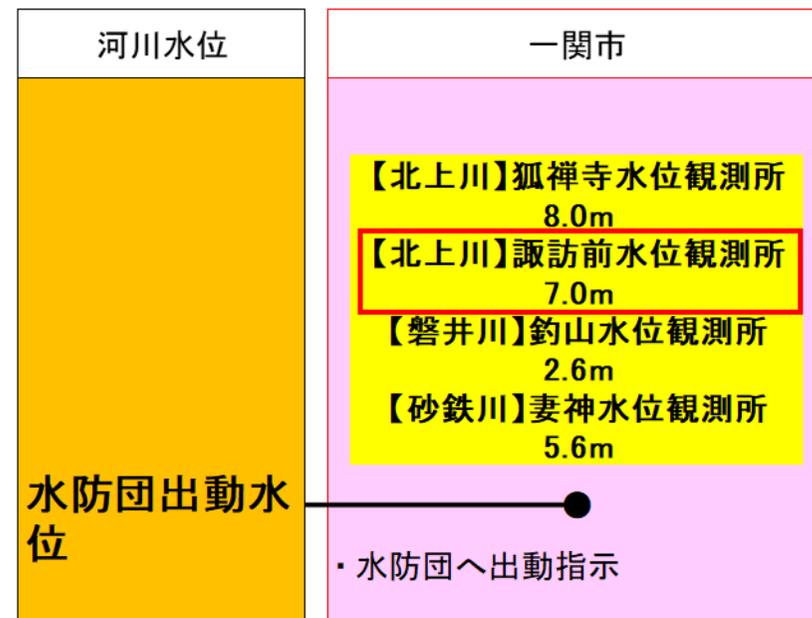
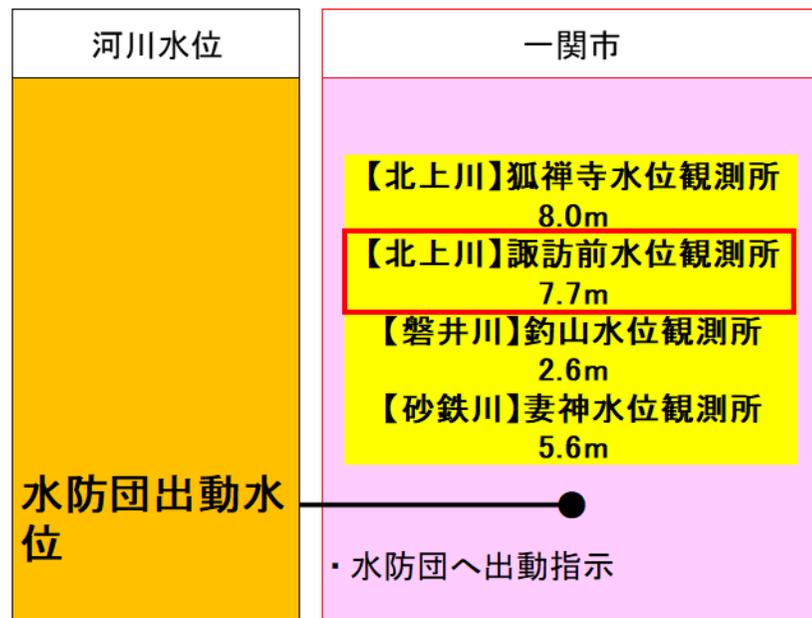
河川水位	住民等
避難判断水位 レ ベ ル 3	<div style="background-color: #FF0000; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;"> 高齢者・要配慮者避難開始 </div> <div style="background-color: #4B0082; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;"> 避難開始(一関市) (高齢者・要配慮者以外) </div> <ul style="list-style-type: none"> 避難の準備(要配慮者以外) 防災無線、携帯メール等による避難準備情報の受信

河川水位	住民等
避難判断水位 レ ベ ル 3	<div style="background-color: #FF0000; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;"> 高齢者・要配慮者避難開始 </div> <div style="background-color: #4B0082; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;"> 避難開始(一関市) (高齢者・要配慮者以外) </div> <ul style="list-style-type: none"> 避難の準備(要配慮者以外) 防災無線、携帯メール等による避難に関する情報の受信 キキクルや水害リスクラインの確認

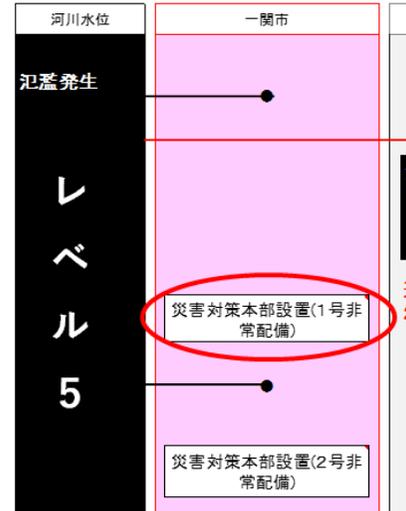
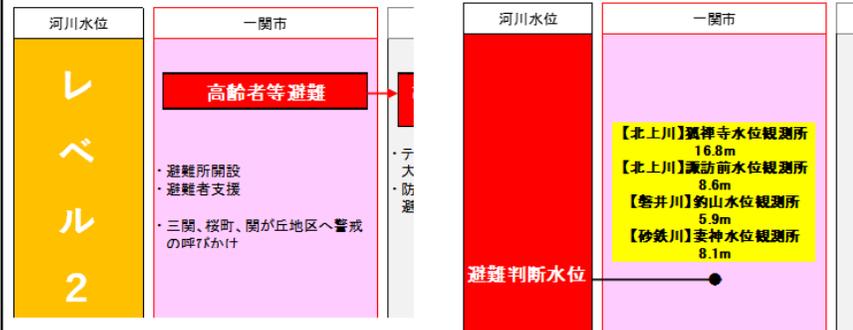
修正前（令和5年度）

修正後（令和6年度）

誤記のため、【北上川】諏訪前水位観測所の水防団出動水位を修正



修正前（令和5年度）



修正後（令和6年度）

一関市の「災害対策本部設置(警戒配備)」、「災害対策本部設置(1号非常配備)」のタイミングを修正



IDR4Mの全国展開の加速化プロジェクト

IDR4M(市町村災害対応統合システム)の概要

避難指示を発令する市町村長にとって現状とは・・・

- ① とりあえず全域に避難指示を発令するということがないよう、どの地区で災害リスクが高まっているのかがわかる情報が欲しい。
- ② 急に「警戒レベル3」相当と言われたときでも、時間に余裕をもって避難指示相当の状況に達する見込みがわかるようにしてほしい。
- ③ 避難情報を発令する頃は役場も大変な状況なので、その意思決定に必要な情報を一度にまとめて見られるようにしてほしい。

IDR4Mにお任せください！！

IDR4Mが提供する情報

WEBブラウザ上で利用可能。

IDとパスワードがあれば、いつでも、どこでも情報を入手可能

- ① 小エリアごとの災害リスクの状況を地図や一覧表で表示



B市長の体験談

IDR4Mの小エリアごとの災害リスク情報により、より多くの住民の避難行動につながるきめ細かい発令ができる。

- ③ 降雨や水位予測、気象警報や警戒情報など避難指示の意思決定に必要な情報をまとめて表示



C市防災担当者の体験談

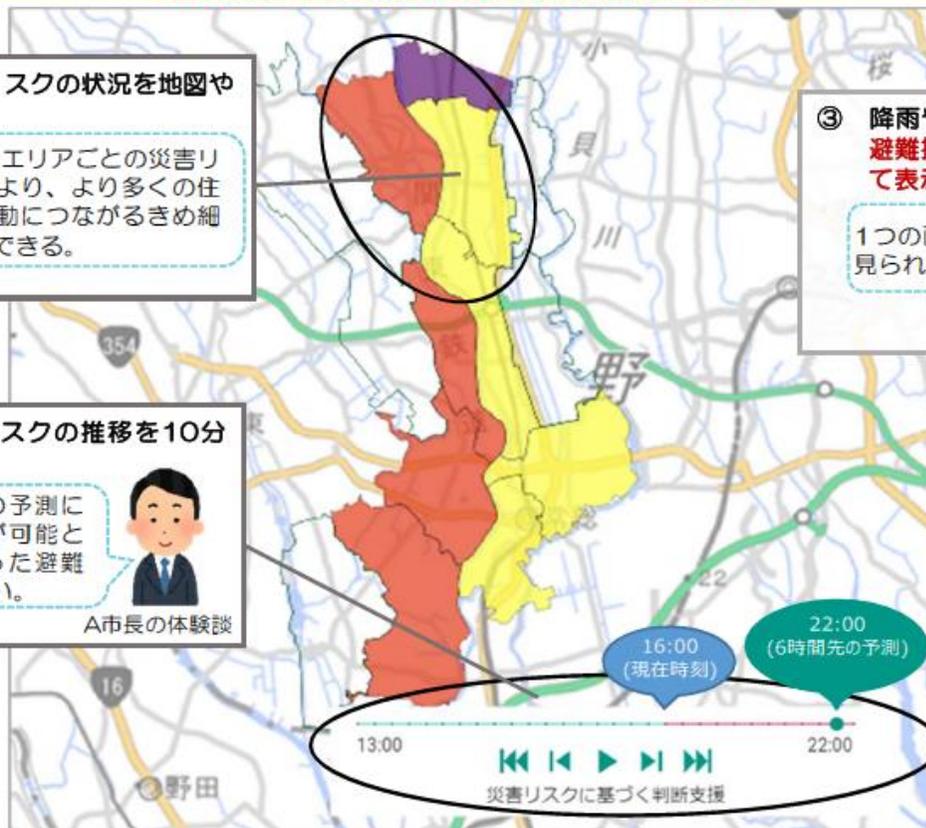
1つの画面で雨や水位などの情報が見られるので使いやすい。

- ② 6時間先までの災害リスクの推移を10分更新で表示



A市長の体験談

IDR4Mの6時間先までの予測により早めに準備、発令が可能となり、住民の余裕を持った避難につながるのありがたい。



IDR4Mに様々な情報を集約

気象情報 (降雨予測等)

水位情報 (川の防災情報等)

基礎情報 (浸水想定区域等)

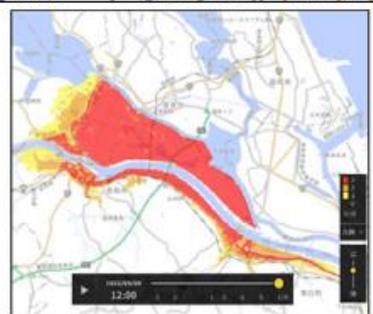
リアルタイム情報 (気象庁発表情報等)

IDR4Mの全国展開の加速化プロジェクト

IDR4M(市町村災害対応統合システム)の概要

- ① **ハザード等の予測情報の提供**：6時間先までのハザード・災害リスク・判断支援情報をタイムスライダーバーにより自在に地図上に表示します
- ② **ポータルサイトとしての活用**：避難判断に必要な気象災害情報等をウェブブラウザで閲覧できます
- ③ **発令地域ごとの災害リスク提供**：市区町村ごとに任意のエリアで発令地域を表示します（例：学校区・町丁目等）

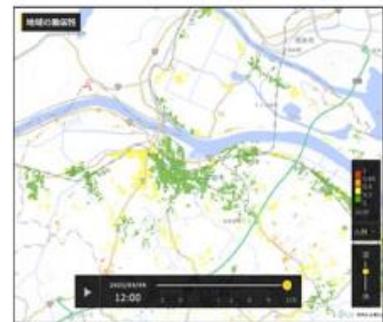
①ハザード等の予測情報の提供



ハザード (洪水)
直轄河川の洪水発生範囲・規模を予測・表示します



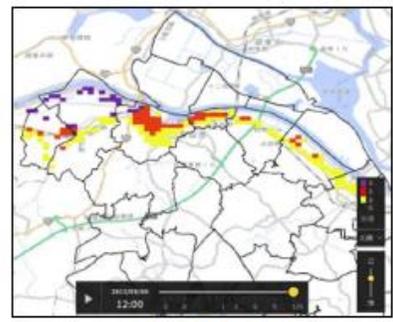
ハザード (土砂災害)
降雨による土砂災害発生危険度を予測・表示します



地域の脆弱性
住民が最寄りの避難所に向かう際の避難所要時間を基にした避難のしにくさを表示します



ハザードと地域の脆弱性を総合して災害リスクを評価



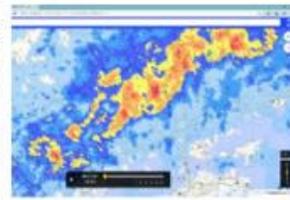
災害リスク
住民の避難行動開始の必要性を表示します



発令地区単位に集約

②ポータルサイトとしての活用

ポータルサイトとして降水量、河川水位、気象警報等の集約表示できます



降水量

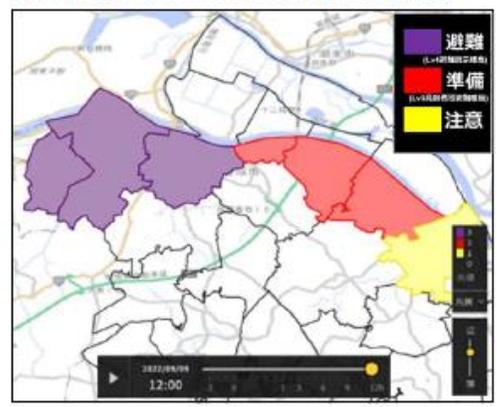


河川水位



気象警報

③発令地域ごとの災害リスク提供



判断支援

災害リスクを基に、自治体で設定する発令地域単位（学校区・町丁目等）に絞った避難発令の判断を支援します

【目的】

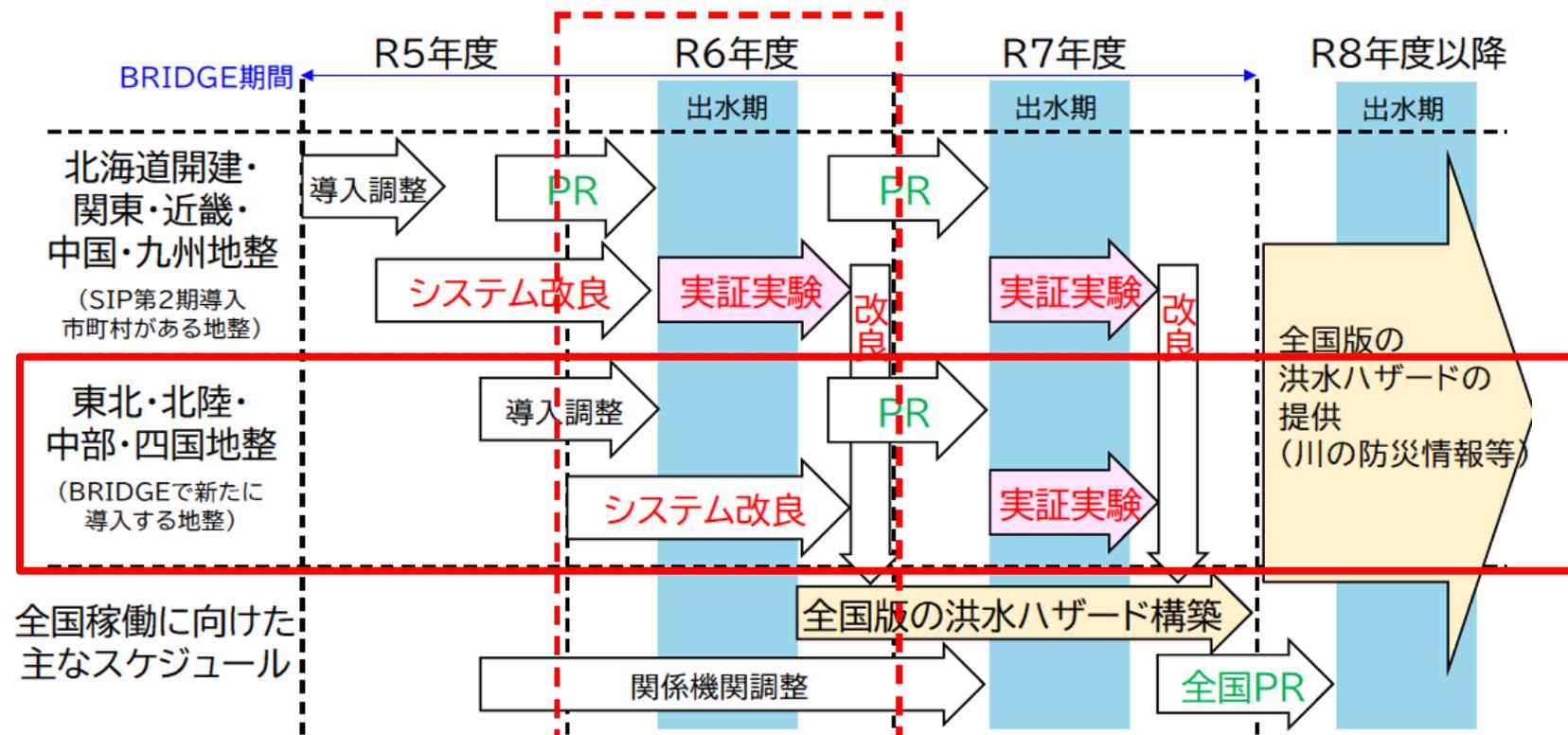
SIP第2期※1) において開発されたIDR4Mを、BRIDGE※2) において国、都道府県、市区町村と連携して流域全体のシステムに改良し、流域全体を統合した水害リスク情報を提供することにより、流域治水の推進を加速化する。

※1) 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期『国家レジリエンス（防災・減災）の強化』のテーマ7「市町村災害対応統合システムの開発」

※2) 研究開発成果の社会実装への橋渡しプログラム（BRIDGE）『IDR4Mの全国展開の加速化プロジェクト』

- ▶ 導入調整: 試験的にIDR4Mを導入する実験流域を選定。
- ▶ PR : 減災対策協議会等を活用して流域市町村へのIDR4M導入・利活用を進める。
- ▶ 実証実験: これまでに判明していなかった課題を抽出、システム改良を実施するとともに全国版の「洪水ハザード」を構築。

※以下の線表の通り、地整によってスケジュールが異なります



浸水被害の把握

ヘリによる調査

リアルタイム性

- ・悪天候時に調査不可
- ・夜間調査不可



痕跡調査

機動力

- ・広範囲の調査不可
- ・多数の人材確保
- ・専門の技術者が必要



【既存の技術】

ワンコイン浸水センサ

センサの特徴

小型、長寿命かつ低コストで、堤防や流域内に多数の設置が可能な浸水センサ



実証実験に用いている3種類の浸水センサ

- ・小型
- ・低コスト
- ・長寿命

官民連携による浸水域把握イメージ

堤防の越水・決壊などの状況や、地域における浸水状況の速やかな把握のため、浸水センサを企業や地方自治体等との連携のもと設置し、情報を収集する仕組みを構築



【技術開発】

活用イメージ

【災害時】

- ・早期の人員配置
- 〔道路冠水による通行止め〕
- 〔避難所の開設 等〕
- ・ポンプ車配置の検討

【復旧時】

- ・罹災証明（自治体等）の簡素化・迅速化
- ・保険の早期支払い
- ・災害復旧の早期対応

など

スケジュール

令和3年度

- ・実証実験準備会合を開催
- ・実証実験に向けてセンサの仕様や実施内容を検討・確定

令和4年度

- ・モデル地区となる自治体5市町において、国・自治体・民間企業等（10団体）にてセンサを設置し、実証実験を開始

令和5年度（R5.5.31時点）

- ・モデル地区となる自治体を45市町に拡大し、国・自治体・民間企業等（24団体）にてセンサを設置し、実証実験を継続
- ・必要に応じ、エリアを拡大

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和6年3月26日
水管理・国土保全局 河川計画課

76の自治体・15の企業等を追加 ～ワンコイン浸水センサ実証実験～

浸水の危険性がある地域に浸水センサを多数設置し、リアルタイムにその状況を把握する実証実験を実施しています。

このたび、令和6年度に継続実施する実証実験において、追加の実証実験実施地区となる自治体、及び実証実験実施地区において自らの施設等に浸水センサを設置・管理する企業・団体等を公募により決定しました。

○実証実験の参加者

今回の1次公募により、76の自治体・15の企業・団体等を追加参加者として、決定しました。(別紙参照)

今後は各関係者で調整し、浸水センサの設置を進めていきます。

なお、2次公募として、自治体及び企業・団体等ともに令和6年6月20日まで受付中ですので、応募方法の詳細は以下のWEBサイトに掲載の公募要領または別添参考資料-1～3をご参照ください。

https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_001227.html

※応募者多数の場合等はお受けできない場合がございます。

<実証実験の目的>

近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、面的に浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっております。そのため、浸水センサを用いてリアルタイムに浸水状況を把握する仕組みの構築に向けて、民間企業と国や自治体等の様々な関係者が浸水センサを設置し、浸水センサの特性や情報共有の有効性等を実証するものです。

(別添参考資料-4参照)

※これまでの実証実験概要等は以下WEBサイトに掲載しています。

今後、参加者の追加等あった場合はこちらでお知らせします。

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>

【問合せ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室
企画専門官 外山(内線 35392)、係長 中村(内線 35394)
代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8446

令和6年度ワンコイン浸水センサ実証実験1次応募結果

担当事務所	参加自治体及び企業・団体等	設置箇所(自治体)
青森河川国道事務所	むつ市	むつ市
	(株)日立製作所	南部町
岩手河川国道事務所	(国)岩手大学	盛岡市
	(国)岩手大学	矢巾町
	(国)岩手大学	紫波町
仙台河川国道事務所	仙台市	仙台市
	大河原町	大河原町
北上川下流河川事務所	(株)テイデイー	大郷町
秋田河川国道事務所	秋田市	秋田市
	(株)テイデイー	能代市
	(株)テイデイー	能代市
山形河川国道事務所	(株)テイデイー	高畑町
福島河川国道事務所	福島市	福島市
	郡山市	郡山市
	本宮市	本宮市
	白河市	白河市
	福島県	福島市
	福島県	郡山市
	福島県	本宮市
	福島県	白河市
	福島県	伊達市
太陽誘電(株)	小野町	

■以下のWEBサイトにこれまでの実証実験の取組や公募に関する資料等を掲載しています

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>

国土交通省

ホーム 国土交通省について 報道・広報 政策・法令・予算 白書・オープンデータ お問い合わせ・申請

技術・情報

水管理・国土保全トップ 河川 タム 砂防 海岸 水資源 下水道 防災 環境 利用 国際 情報・技術

ホーム > 政策・仕事 > 水管理・国土保全 > 技術・情報 > ワンコイン浸水センサ実証実験

ワンコイン浸水センサ実証実験

【新着情報】
2024年3月26日
○ワンコイン浸水センサ実証実験二次募集実施中（令和6年6月20日まで受付中）
https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_001239.html

2024年1月12日
○令和6年度の新規参加者を開始しました
https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_001227.html

○大雨による浸水被害が発生するなか、迅速な災害対応や地域への情報発信を行うため、堤防における越水や決壊などの状況や、周辺地域における浸水の状況を、速やかに把握することが求められています。

○また、流域内で活動を行う様々な企業等においても、各者の店舗や事業施設の適切な管理、住居や車両の浸水被害への保険金支払い等の災害後の対応の迅速化などのため、浸水の状況を容易に把握する仕組みへのニーズが高まっています。

○こうしたニーズへ対応するためには、小型、長寿命かつ低コストで、堤防や流域内に多数の設置が可能なワンコイン浸水センサを製造、設置し、それらからの情報を収集する仕組みの構築が必要であり、そのための実証実験を実施中です。

(参考)浸水情報の活用イメージ

国土交通省

■堤防の越水・決壊などの状況や、地域における浸水状況の速やかな把握のため、浸水センサを企業や地方自治体等との連携のもと設置し、情報を収集・共有する仕組みを構築

保険会社
保険加入者住宅への設置による、被害状況の把握、保険金支払いの円滑化

農産会社
農産対象施設における浸水被害の早期検知、対応の迅速化

店舗管理
店舗施設における浸水被害の早期検知、対応の迅速化

河川管理
河川における越水や決壊の早期把握

施設管理
排水ポンプ等の配管の迅速化

市町村
地域の被害把握、災害対応の迅速化

データ集約

○令和6年度 実証実験参加者一覧 実証実験で用いる浸水センサ
○令和5年度 実証実験参加者一覧
○令和4年度 実証実験参加者一覧
参加者の概要【自治体】【民間企業・団体等】【センサメーカー】（2022年12月1日）

記者発表資料等

○76の自治体・15の企業等を追加～ワンコイン浸水センサ実証実験～（2024年3月26日）
• https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_001239.html

○令和6年度に新たに実証実験実施地区となる自治体について（2024年3月8日）
• [自治体一覧](#)
• [設置検討エリア](#)
【北海道】【東北】【関東】【北陸】【中部】【近畿】【中国】【四国】【九州】

○自治体・企業等からの新規参加者を公募（2024年1月12日）
• https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_001227.html

○ワンコイン浸水センサ実証実験 広報用チラシ（2023年10月1日）
• [ワンコイン浸水センサ実証実験に参加しよう](#)

○モデル地区となる自治体について（2024年1月4日）
• [自治体一覧](#)
※現時点で参加に向けた内部調整中の自治体があり今後、追加・変更等の予定があります。
• [設置検討エリア](#)
【北海道】【東北】【関東】【北陸】【中部】【近畿】【中国】【四国】【九州】

○自治体・企業等からの新規参加者を決定（2023年4月14日）
https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_001170.html

○自治体・企業等からの新規参加者を公募（2023年1月23日）
https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_001150.html

○ワンコイン浸水センサ 浸水を検知（2022年12月6日）
https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_001145.html

○ワンコイン浸水センサ実証実験開始（2022年8月25日）
https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_001132.html

○ワンコイン浸水センサ実証実験の参加者を決定しました（2022年4月28日）
https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_001110.html

○ワンコイン浸水センサ実証実験の参加者を公募します（2022年3月18日）
https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_001104.html

○河川内の観測(水位等)に加え、流域の観測(浸水状況)に取組を拡大
～ワンコイン浸水センサ実証実験準備会合への参加者を公募します～（2021年9月10日）
https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_001088.html



まるごとまちごとハザードマップ実施の手引き(第2版) <平成29年6月公表>

背景・必要性

- 洪水ハザードマップの更なる普及浸透、住民等の水害に対する危機意識の醸成、避難所等の認知度の向上を図ることを目的として、生活空間である“まちなか”に水防災にかかる各種情報を標示する「まるごとまちごとハザードマップ」の取組を推進するため、平成18年に手引きを作成。(平成28年3月末現在、約1割の市町村(対象約1,300市町村)で実施)
- 平成27年9月関東・東北豪雨災害において、ハザードマップが十分に認知されておらず多くの逃げ遅れによる孤立者が発生したことや、平成28年8月北海道・東北地方を襲った一連の台風により甚大な人的被害が発生したことを踏まえ、まるごとまちごとハザードマップの取組をさらに促進するため、市町村と河川管理者等との役割分担を明確にし、取組の実施に係る検討や作業等の流れを具体化・詳細化するなど、市町村がより円滑に取組を進められるよう手引きを改定。
- あわせて、対象とする水害に内水、高潮を加えるとともに、JISの改正に伴う洪水の図記号を変更。また、これまでの取組の蓄積を事例集にとりまとめ、新たに追加。

改定の概要

多発する浸水被害への対応を図るため、まるごとまちごとハザードマップの全国的な取組を推進する。

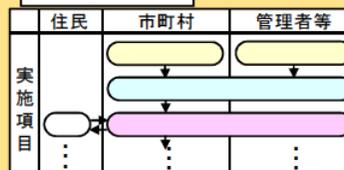
1. 実施に係る検討・作業等の流れの具体・詳細化

- 事前調査段階から設置、維持管理・活用の各段階の具体的な流れや留意点を具体・詳細化
- 各検討・作業における関係機関の役割分担が把握できるフロー図を記載

関係機関の役割分担

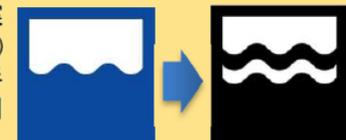
- 単独実施**：該当する関係機関がそれぞれ単独で実施する項目
- 分担実施**：市町村が管理者等と連携・協力して実施する項目
- 共同実施**：関係機関が共同で実施する項目

フロー図(イメージ)



3. JISZ8210(案内用図記号)の改正に伴う図記号の変更

- JISZ8210(案内用図記号)の改正に伴い洪水の図記号を変更



2. 水防法改正に伴い内水・高潮を追加

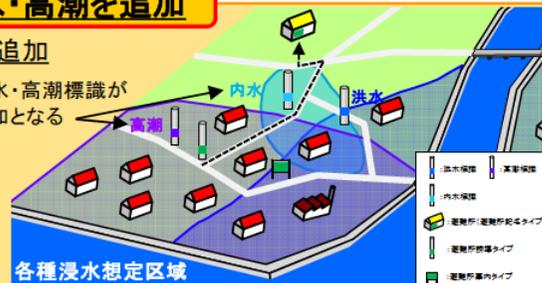
- 内水と高潮の図記号を新たに追加(内水は、洪水に同様)



洪水・内水

高潮

内水・高潮標識が追加となる



各種浸水想定区域

4. 取組の蓄積を事例集にとりまとめ新たに追加

- 住民との連携、視認性や地域特性に配慮した標識の設置事例、活用事例等の先進事例を追加



取組事例集

実施状況(2020.1末)

まるごとまちごとハザードマップ

実施自治体



203 / 1,356
ハザードマップ
作成対象自治体数

山梨県韮崎市(釜無川)

取り組みへの評価



まるごとまちごとハザードマップを
実施している自治体数(2020.1末)を、
国土交通省の公共施設利用者(700万人)
へのアンケート調査による

実施のメリット

- ✓日常生活で視認されやすい
- ✓紙媒体のように破棄・紛失されることがない
- ✓浸水リスクを伝えたい人に伝えることができる
- ✓まち全体に浸水リスク等を伝えることができる

ひとつとでは、ないかもしれない

簡易的なまるごとまちごとハザードマップの取り組み事例



門真市の淀川河川事務所前の取組事例
▶浸水位テープを活用し、浸水深を提示して表示



千代田区の取組事例
▶浸水深を示すシールで製作し、人目につきやすい
観光施設等のエントランスに貼り付けて表示



鎌倉市の取組事例
▶ハザードマップで浸水深を調べ、身近な
場所に貼れる「浸水深シール」を配布



茨城市の取組事例
▶想定浸水深をオレンジ色のラインで表示し、
見る側のラインの高さが浸水位であることを学習

まるごとまちごとハザードマップの関連情報

まるごとまちごとハザードマップ
について調べる

[まるごとまちごとハザードマップ](#)

▶まるごとまちごとハザードマップの考
え方や設置の仕方、現地確認用のツールや
取組事例などを紹介しています。



知りたい場所の浸水リスク
- 浸水想定について調べる

[浸水ナビ](#)

▶どの河川のどこの地点が決壊(破堤)したら、
自宅や会社などが浸水するのがわかります。



ハザードマップについて
調べる

[ハザードマップポータルサイト](#)

▶災害リスク情報などを地図に重ねて表示したり、各自治
体が作成したハザードマップへリンクされています。



まるごとまちごと ハザードマップ



お問合せ先

〒100-8918
東京都千代田区霞が関 2-1-3 電話 03-5253-8111 (代表)
水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室

まるとまちごとハザードマップ

「まるとまちごとハザードマップ」とは、その地域の洪水による浸水のリスクや避難に関する情報を生活空間であるまちなかに表示して自然に目に入るようにすることで、日頃から水防災への意識を高めていこうとする取り組みです。自分の住む家やまちで水害が発生したときにどんな状況になるのか？それをイメージし、市区町村が作っている「洪水ハザードマップ」への興味関心を促します。



安全かつスムーズな避難
個人個人の主体的な安全確保の行動

まちなかに浸水水位を表示する
その他のケース

福知山市

一関市

豊岡市



想定浸水深の表示



山形県長井市（最上川）
▶ 避難所への誘導情報を合わせて表示

「想定浸水深」の表示は、記載されている川が氾濫した場合に、その場所が浸水すると予測される深さを示したものです。実際の水位の高さに、色のついたテープが貼られている場合もあります。

実績浸水深の表示



愛媛県大洲市（肱川）
▶ 肱川流域会議による設置深さの考え方を追記

「実績浸水深」の表示は、記載されている川が過去に氾濫した時に、その場所が実際に浸水した深さを示したものです。実際の水位の高さに、色のついたテープが貼られている場合もあります。

避難所(建物)の表示



「避難所(建物)」の表示は、避難できる建物を示しています。その避難所が対象としている災害の種類や方向の図記号と一緒に記載されています。その他、表示の場所からの距離や方向が示されていたり、避難所そのものに表示されている場合もあります。

近くの避難所は、洪水の時に安全ですか？
いざという時のために、身近な避難先を確認しておきましょう。

防災・安全交付金について

「防災・安全交付金」制度は、地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みを集中的に支援するため、平成24年度補正予算において創設された制度であり、まるとまちごとハザードマップの実施に適用が可能です。

制度の詳細については
こちらへ

防災・安全交付金



▶ 交付金制度の概要や対象事業のイメージ、申請の手続きの仕方などを知ることができます。

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和6年6月7日
水管理・国土保全局
水災害リスクコミュニケーション推進室

水災害リスクコミュニケーションポータルサイトを開設しました！
～水災害リスクの減少・分散・回避に向けて～

国土交通省では、今般、主に民間企業や行政機関などが、自らの水災害リスクを確認し、平常時において主体的な減災行動を取ることができるよう、有益な情報を一元的に集約した「水災害リスクコミュニケーションポータルサイト」を開設しました。
今後、水災害リスクを軽減するための取組事例などの情報も充実させながら、水災害リスクコミュニケーションを推進して参ります。

<水災害リスクコミュニケーションポータルサイト>
https://www.mlit.go.jp/river/risk_communication/index.html

<水災害リスクコミュニケーションポータルサイトの活用方法>

- ポータルサイトでは、知りたい事項ごとに情報の使い方などを紹介しています（一例）。
 - ・水災害リスク情報にはどのようなものがあるのかを知りたい
 - ・【浸水】 浸水の範囲や深さを知りたい
 - ・【浸水頻度】 浸水の頻度を知りたい
 - ・【家屋倒壊】 氾濫時に家屋の流出や倒壊のおそれがある箇所を知りたい
 - ・【土砂災害】 土砂災害の危険性・避難のタイミングを知りたい
 - ・水災害のリスクと不動産情報
- 例えば、「【浸水頻度】 浸水の頻度を知りたい」では、水害リスクを踏まえた土地利用や住まい方の工夫の検討、企業の立地選択の検討などの目的として作成している多段階浸水想定図、水害リスクマップ（浸水頻度図）の見方や確認できるリスク情報を解説しています。

多段階浸水想定図と
水害リスクマップの解説動画

水害リスク情報パンフレット

北上川水系

流域治水プロジェクト2.0 ～流域治水の加速化・深化～

- 気候変動の影響により当面の目標としている治水安全度が目減りすることを踏まえ、流域治水の取組を加速化・深化させる。このために必要な取組を反映し『流域治水プロジェクト2.0』に更新する。

現状・課題

- 2℃に抑えるシナリオでも2040年頃には降雨量が約1.1倍、流量が1.2倍、洪水発生頻度が2倍になると試算
- 現行の河川整備計画が完了したとしても治水安全度は目減り
- グリーンインフラやカーボンニュートラルへの対応
- インフラDX等の技術の進展

必要な対応

- 気候変動下においても、目標とする治水安全度を現行の計画と同じ完了時期までに達成する
- あらゆる関係者による、様々な手法を活用した、対策の一層の充実を図り、流域治水協議会等の関係者間で共有する。

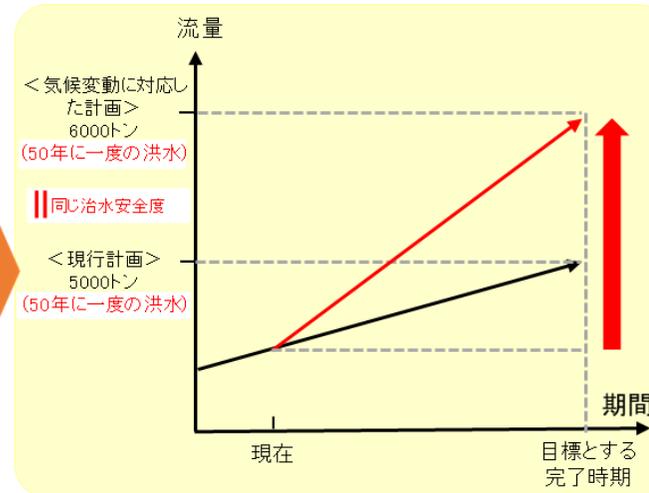
必要な対応のイメージ

気候変動シナリオ	降雨量 (河川整備の基本とする洪水規模)
2℃上昇	約1.1倍

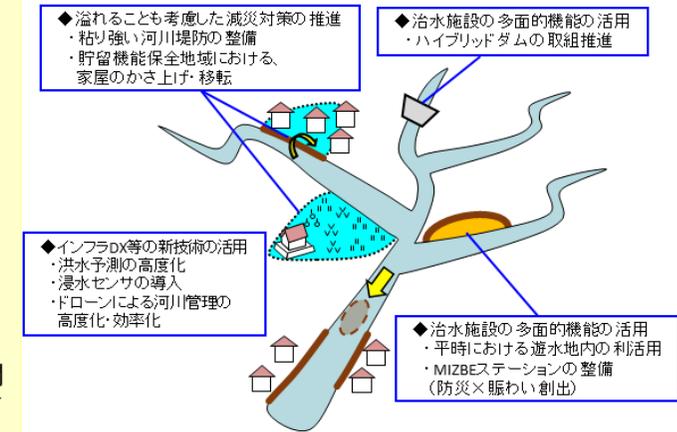
降雨量が約1.1倍となった場合

全国の平均的な傾向【試算結果】	流量
	約1.2倍

同じ治水安全度を確保するためには、**目標流量を1.2倍に引き上げる必要**



様々な手法の活用イメージ



※現行の計画と同じ完了時期までに目標とする治水安全度を達成するため、様々な手法を活用し、集中的に整備を進めることが必要

⇒現在の河川整備計画に基づく対策や流域における各取組を推進するとともに、気候変動を踏まえて追加で必要となる対策案の詳細については、更に議論を深めていく。

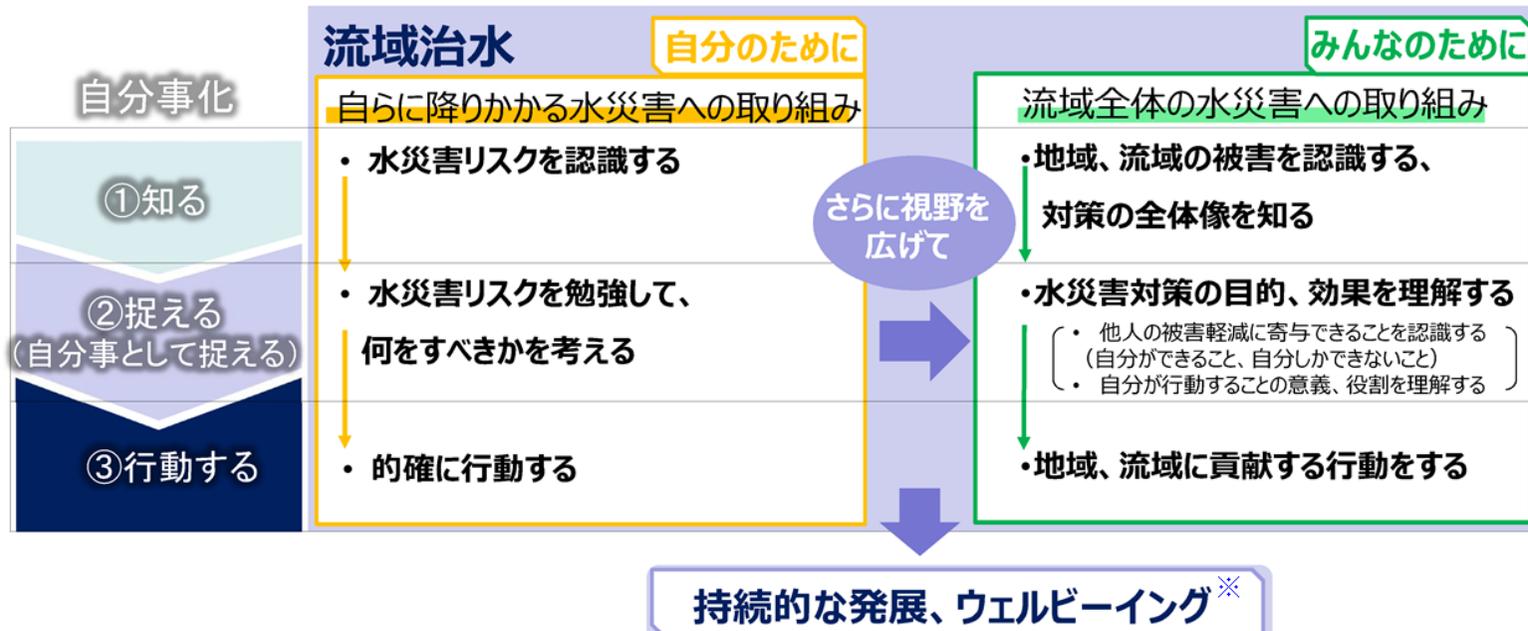
■水害リスクの自分事化の内容

- 自分事化とは、流域治水の取組を一層推進するため、住民や企業等が自らの水災害リスクを認識し、自分事として捉え、主体的に行動することに加え、さらに視野を広げ、流域全体の被害や水災害対策の全体像を認識し、自らの行動を深化させていくこと。
- 各関係機関においては、取り組むべき流域治水対策メニュー(取組計画)を考え、達成に向けたロードマップの作成をお願いしたい。
- 各期間における様々な取組内容や実施時期等について検討しとりまとめ、流域治水プロジェクトへ反映する。

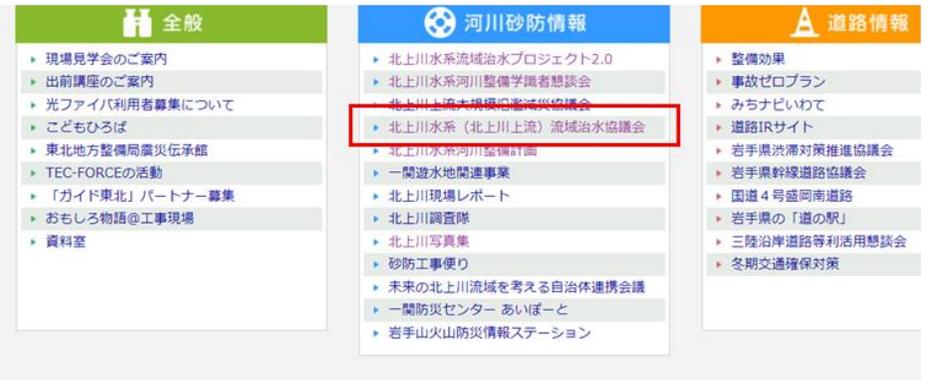
◀自分事化のとりまとめ内容▶

- **自分事化に向けた取組み計画の作成**
「①知る機会を増やす」、「②自分事として捉えることを促す」、「③行動を誘発する」のプロセス毎に普及施策を体系化したもの
- **自分事化に向けたロードマップの作成**
取組み内容ごとの実施主体、実施時期を示したロードマップ

※上記2つの資料は、必要に応じて市町村等の実施主体別にページを分けた様式も作成



・北上川水系流域治水プロジェクト2.0（令和6年3月29日）HP掲載



国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

〒020-0066 盛岡市上田4丁目2-2
TEL 019-624-3131 FAX 019-624-3207
あなたは **0577579** 人目のお客様です。

▶ 関連リンク ▶ 用語集 ▶ サイトマップ ▶ ご意見・ご質問 ▶ リンク・著作権・プライバシー

北上川水系（北上川上流）流域治水協議会

流域治水の推進 国土交通大臣メッセージ

■ 北上川水系（北上川上流）流域治水協議会

北上川水系（北上川上流）流域治水協議会とは、令和元年東日本台風をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による今後の水害の激甚化・頻発化に備え、北上川水系北上川上流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うものです。

- ・ 北上川水系（北上川上流）流域治水宣言
- ・ 北上川水系（北上川上流）流域治水協議会規約（令和6年2月19日改定、令和6年3月29日更新）
- ・ 北上川水系流域治水プロジェクト（令和4年3月31日策定、令和5年6月6日更新）
- ・ 北上川水系流域治水プロジェクト2.0（令和6年3月29日策定）
- ・ 自分事化に向けた取り組み

■ 第6回 北上川水系（北上川上流）流域治水協議会（令和6年2月19日開催）



第6回協議会資料

- ・ 次第・出席者名簿
- ・ 資料1 規約改定について
- ・ 資料2 流域治水プロジェクト2.0の公表について
- ・ 資料3 流域治水の自分事化に向けた取組計画の公表について
- ・ 資料4 前回までの開催状況